

4. 今後の運営協議会について

○ これまでの運営協議会について

- 飯舘村長泥地区環境再生事業運営協議会では、2018年の第1回開催時から地元関係者や学識経験者を交えながら、事業の進め方や進捗に応じて発生する様々な課題等について協議してきました。

○ これまでの運営協議会の成果について

- これまでに、再生資材(除去土壌)を用いて造成した農地及び栽培した作物の放射線に関する安全性について地元や見学に来ていただいた方等に御理解いただきました。
- 令和6年度に策定した復興再生利用の基準及び復興再生利用に係るガイドラインへ 長泥地区環境再生事業の成果を反映しています。

○ 今後の運営協議会について

- 今後は、①再生資材(除去土壌)で造成した農地の適切な管理・使用に関すること、②環境再生事業の理解醸成の推進に関すること等を協議していくため、これまでの協議会委員について見直しを行い、より地元関係者を中心とする実務的な会議として進めることとします。



第17回運営協議会

トピック! 花の里 ながどろ 環境再生情報ひろば

愛称
ながどろひろば

○ 令和7年4月25日オープン!

- 気軽に休憩ができて、地元の方々と一般の来館者が交流できるような親しみやすい空間として「ながどろひろば」をオープンしました。



ながどろひろば開所式

開館時間：午前10時～午後4時
休館日：毎週水曜日、年末年始

※令和7年6月1日より毎週水曜日が休館日となります。
冬期は積雪の状況により閉館することもあります。

入館料：無料
場所：飯舘村長泥字長泥815-1

＼お気軽にお立ち寄りください／



ながどろひろば内の様子

飯舘村長泥地区運営協議会便り Vol.8



理解醸成



水田試験



花き栽培



傾斜畑試験



- ①次世代ツアー見学 ②ビニールハウス花き栽培見学 ③浅尾環境大臣視察 ④伊藤環境大臣(当時)視察 ⑤環境再生事業現地見学講義
⑥協働での苗の植え付け ⑦協働での稲の刈取り ⑧花束制作 ⑨一般見学会生花配布 ⑩レタス収穫 ⑪ジャガイモ収穫

編集者あさかわから後記



今回オープンとなった「ながどろひろば」は、全国の皆さんに長泥を訪れていただき、長泥で実施している環境再生事業を知っていただく場所になればと思っています。

そのためにも気軽に地元の皆さんや訪れた方たちが談笑できるような空間にしていければと思いますので、ぜひお立ち寄りください。

(令和7年5月)

こんにちは!



編集者あさかわ

環境省福島地方環境事務所のあさかわです。
令和7年2月27日(木)開催の第17回運営協議会の内容についてご紹介します。

以下について報告しました。

1. 環境再生事業の工事の状況
2. 環境再生事業の水田試験等
3. 除去土壌の復興再生利用に係る理解醸成活動
4. 今後の運営協議会

長泥地区運営協議会の詳細はコチラ

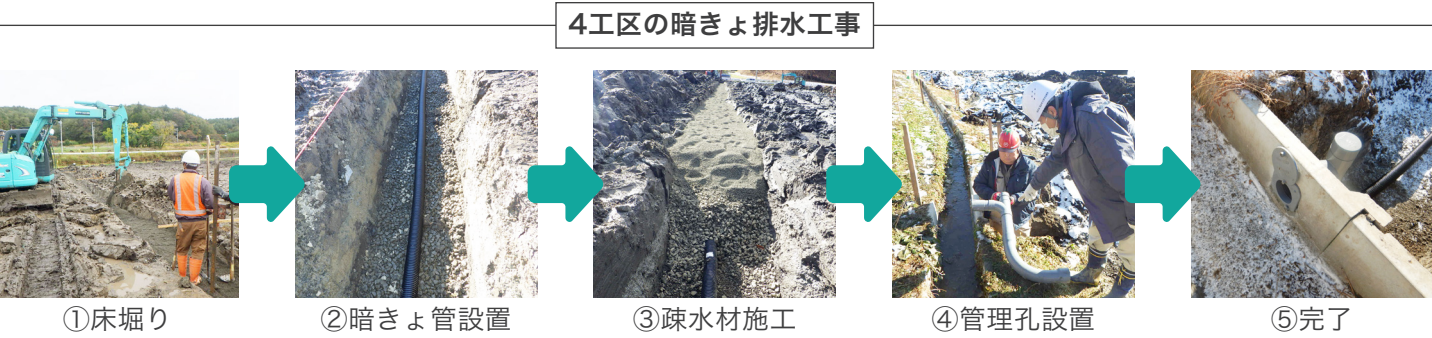


1. 環境再生事業の工事状況について

2～4工区の状況について

【令和6年度】

- ほ場、水路等の点検や除草、環境モニタリング等を実施しました。
- **4工区の暗きょ排水工事(写真)**を実施しました。
- 4工区については、令和7年度に飯舘村と地権者へ引継ぎをする予定です。
(令和7年4月25日付けで引継ぎしました。)



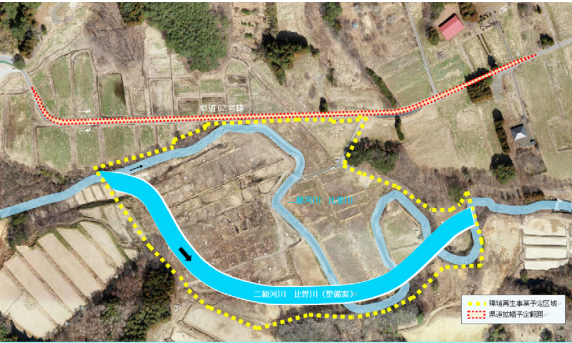
【令和7年度予定】

- 2～3工区**
 - 令和6年度に引き続き、ほ場・水路等の点検や除草、環境モニタリングを実施します。
 - 3工区に作土を搬入し盛土後、順次暗きょ排水工事を実施します。続いて2工区への作土搬入工事も実施予定です。
- 4工区**
 - 飯舘村と地権者に引継ぎ後も環境省では点検業務(土留擁壁の点検、緊急時の点検等)、環境モニタリングを実施します。

1工区の状況について

【令和6年度】

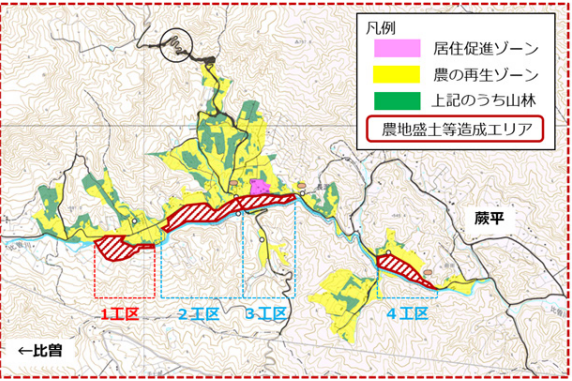
- 令和5～6年度で予備設計を実施しました。
- 令和6年2月から比曽川改修及び盛土造成箇所のレイアウトについて検討を行い、福島県との協議及び地元への説明(令和7年2月)を実施しました。
 - 安全な車両通行を目的に実施する県道62号の拡幅工事については、1工区の盛土等工事が終るまでの間、工事ヤードとして借地させていただき工事を実施する予定です。
 - 福島県により10月17日～18日に埋蔵文化財の調査(試掘)が実施され、埋蔵文化財がないことを確認しました。



1工区の範囲(案)

【令和7年度予定】

- 令和7年度中に1工区の詳細設計業務を実施します。
- 工事実施に向けた詳細な図面等の作成を進めてまいります。
 - ・測量業務(用地測量、路線測量等)
 - ・地質調査業務(河川構造物、盛土基盤調査等)
 - ・設計業務(河道、盛土造成、道路等)



農地盛土等造成エリアの位置

2. 環境再生事業の水田試験等について

- 令和5年度に続き4工区の一部のほ場で水田試験、転換畑試験及び傾斜畑試験を実施し、放射線に関する安全性等について確認しました。
- 「**水田試験**」は同一区画での2年目の水稻栽培(品種:里山のつぶ)を行い、水田に求められる機能等について確認を行いました。
- 「**転換畑試験**」は水田から畑に転換してダイズと飼料用トウモロコシを栽培し、畑に求められる機能等について確認を行いました。
- 「**傾斜畑試験**」は4工区の東端に整備された傾斜畑において8種類の畑作物を栽培し、放射線に関する安全性や傾斜による排水や生育について確認しました。
- 令和6年度の水稲(玄米、もみ、稲わら)、各種作物の放射性セシウム濃度(137Cs)について、基準※1を大きく下回る結果でした。

※1 玄米・各種作物(一般食品)の基準 ⇒ 100Bq/kg 飼料(飼料用トウモロコシ)の暫定許容値
もみ・稲わら(農業資材)の基準 ⇒ 400Bq/kg 牛及び馬 ⇒ 100Bq/kg (黄熟期サイレージもこの値が適用)
豚 ⇒ 80Bq/kg
家きん ⇒ 160Bq/kg

令和6年度 作物別放射性セシウム濃度(137Cs)※2					(単位:Bq/kg)	
(水田試験)			(転換畑試験)		(傾斜畑試験)	
水稻		(R5参考値)	ダイズ		各種作物	
玄米	0.4	0.6	子実	2.0	コマツナ	0.7
もみ	0.9	0.8	茎葉	2.6	ハウレンソウ	0.4
稲わら	1.8	2.2	飼料用トウモロコシ		カブ	葉 0.5 根部 0.2
			黄熟期(雌穂)	0.3	ブロッコリー	0.2
			黄熟期(茎葉)	0.9	キャベツ	2.2
			完熟期(子実)	1.2	インゲン	0.3
			完熟期(茎葉)	3.8	レタス	0.1
					ジャガイモ(メークイン)	0.4
					ジャガイモ(イタテワールド)	0.5

※2 本データの放射性セシウム濃度(137Cs)は、ゲルマニウム半導体検出器(*)を用いて測定。
(*) 福島県の緊急時環境放射線モニタリングの分析手順では、測定時間2,000秒、検出下限値を概ね5～10Bq/kgとしています。上記は、測定時間54,000秒、検出下限値を0.05～1.4Bq/kgで測定。

水田試験状況



中干し中 生育調査
(7月23日)

転換畑試験状況



ダイズ開花時生育調査
(8月3日)

傾斜畑試験状況



ジャガイモ採取、
ハウレンソウ等播種後
(8月27日)

3. 除去土壌の復興再生利用に係る理解醸成活動について

- 環境再生事業では、長泥地区の皆様にご協力を頂きながら、復興再生利用の現状や得られた成果について現地見学会などを通じて発信しています。また、復興再生利用に係る全国的な理解醸成を展開してまいります。
- 具体的には、①見学やツアー、視察などの対応、②パンフなど各種媒体を通じた情報発信などを実施し、現地に来られた方からは、「マスコミも含めもっと多くの人に知ってもらわなければならない。」等のコメントが寄せられています。

一般見学会

令和6年度は、5月から11月までに毎月1回、合計7回開催し、119名の参加がありました。



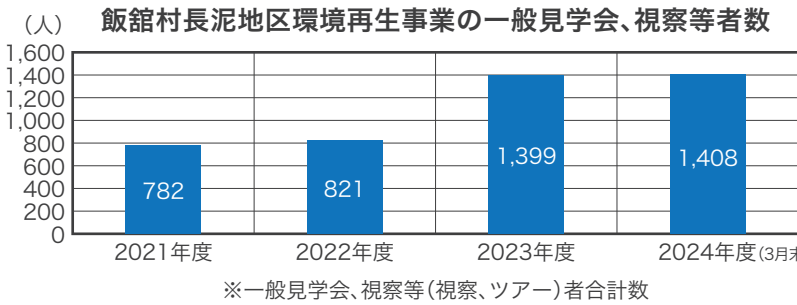
一般見学会の様子

視察等(視察、ツアー)

令和6年度の視察、ツアーについては、のべ1,289名に対応しました。



環境再生事業現地見学
ワークショップの様子



栽培した花きの活用について



押し花カード作成



福島交通飯坂線福島駅に
展示された花束